

日本福祉大学、彦根市、彦根市社会福祉協議会
地域課題の解決と人材育成に向けた連携協定を締結
～学生の地域参画、実践教育を通じて、福祉とまちづくりを推進～

★ 協定の概要

日本福祉大学、彦根市、および社会福祉法人彦根市社会福祉協議会は、相互の連携を強化し、地域社会の発展と次世代を担う人材育成を推進するため、教育・研究および地域振興に関する連携協定を締結いたします。

本協定では、大学の知的・人的資源と、行政および地域福祉現場の実践的な資源を融合させることにより、地域課題の解決、福祉の向上、そして実践的な教育を通じた人材育成を目指します。

★ 主な連携事項

本協定に基づく連携は、日本福祉大学と彦根市、彦根市社会福祉協議会との連携を軸に展開されます。

【1】日本福祉大学と彦根市との連携事項

学生による市役所訪問および政策提案活動

└ 地域課題を学んだ学生が市役所を訪問し、自らの視点で政策提案を行う。

市職員による出張講義の実施

└ 市職員が大学で講義を行い、行政の現場感覚を伝える。

長期インターンシップおよび地域実習の受入れ

└ 学生が市役所や地域で実務経験を積む機会を提供。

公開講座・セミナーの共催

└ 市民参加型の学びの場を共同で開催。

共同調査・研究の推進

└ 行政と大学が連携し、地域課題に対するエビデンスに基づく解決策を探る。

学生に対するキャリア支援

└ 地方公務員など地域でのキャリア形成を支援。

【2】日本福祉大学と彦根市社会福祉協議会との連携事項

学生による地域実習(フィールドワーク)の受入れ

- └ 実際の福祉現場での学びを通じて、即戦力となる人材を育成。

地域課題解決策の提案および実践・検証

- └ 学生と地域住民・職員が協働し、地域課題に取り組む。

福祉教育メニューの共同開発・公開講座の共催

- └ 高校生や地域住民向けの福祉教育コンテンツを共同開発。

共同調査・研究の推進

- └ 福祉現場と学術の橋渡しを図る研究活動を展開。

学生に対するキャリア支援(職員による大学訪問)

- └ 福祉現場の専門職による講話を通じた進路支援。

★ 今後の展望

本協定を通じて、地域に根ざした人材育成モデルを確立し、持続可能なまちづくりと福祉の推進に寄与してまいります。今後も連携体制を強化し、より実効性ある取り組みを地域とともに進めてまいります。

今年度 8 月に行われました日本福祉大学 2 年生および 3 年生のフィールドワークの様子です。

場所: 彦根市福祉センター

講師: 市こども家庭部職員、彦根市社会福祉協議会職員

